

工 事 概 要

橋りょう補修				橋	3
大津畑橋 L=	m	4.6	西谷線8号橋 L=	m	3.02
八丁線3号橋 L=	m	3.65			

施 工 理 由

本件は、「いのちを守る 橋りょう健全化プログラム」に基づき、大津畑橋他2橋において老朽化修繕を行うことにより、安心・安全な市民生活の実現に向けた道路ネットワークの確保を図るものである。	
--	--

		設計額		請負額	
		金額	増減額	金額	増減額
工	事 費	前回	円	円	
		今回	円	円	円
内	工 事 価 格	前回	円	円	円
		今回	円	円	
訳	消費税相当額	前回	円	円	円
		今回	円	円	
支	給 品 費	前回	円	円	円
		今回	円	円	

積算参考資料（間接費補正一覧）（大津畑橋）

単価使用年月	2026年5月	
歩掛適用年月	2026年5月	
基準適用年月	2026年5月	
単価地区		
調整区分	施工箇所点在	
現場環境改善費（率計上）		
市街地補正	市街地	
共通仮設費（率計上）		
主たる工種	12:橋梁保全工事	
施工地域等補正	市街地（DID補正）（1）－1	1.4
I C T 施工補正	補正なし	1.0
週休2日補正	補正なし	1.00
現場管理費		
施工地域等補正	市街地（DID補正）（1）－1	1.2
I C T 施工補正	補正なし	1.0
週休2日補正	補正なし	1.00
一般管理費		
前払金支出割合による補正	補正を行わない	1.00
財団法人等による補正	補正を行わない	1.00
契約保証に係る補正率	金銭的保証	0.04%

積算参考資料（間接費補正一覧）（西谷線8号橋）

単価使用年月	2026年5月	
歩掛適用年月	2026年5月	
基準適用年月	2026年5月	
単価地区		
調整区分	施工箇所点在	
現場環境改善費（率計上）		
市街地補正	市街地以外	
共通仮設費（率計上）		
主たる工種	12:橋梁保全工事	
施工地域等補正	補正無し（地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合）	1.0
I C T 施工補正	補正なし	1.0
週休2日補正	補正なし	1.00
現場管理費		
施工地域等補正	補正無し（地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合）	1.0
I C T 施工補正	補正なし	1.0
週休2日補正	補正なし	1.00
一般管理費		
前払金支出割合による補正	補正を行わない	1.00
財団法人等による補正	補正を行わない	1.00
契約保証に係る補正率	金銭的保証	0.04%

積算参考資料（間接費補正一覧）（八丁線3号橋）

単価使用年月	2026年5月	
歩掛適用年月	2026年5月	
基準適用年月	2026年5月	
単価地区		
調整区分	施工箇所点在	
現場環境改善費（率計上）		
市街地補正	市街地以外	
共通仮設費（率計上）		
主たる工種	12:橋梁保全工事	
施工地域等補正	補正無し（地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合）	1.0
I C T 施工補正	補正なし	1.0
週休2日補正	補正なし	1.00
現場管理費		
施工地域等補正	補正無し（地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合）	1.0
I C T 施工補正	補正なし	1.0
週休2日補正	補正なし	1.00
一般管理費		
前払金支出割合による補正	補正を行わない	1.00
財団法人等による補正	補正を行わない	1.00
契約保証に係る補正率	金銭的保証	0.04%

積算参考資料（間接費補正一覧）（全体）

単価使用年月	2026年5月	
歩掛適用年月	2026年5月	
基準適用年月	2026年5月	
単価地区		
調整区分	施工箇所点在	
現場環境改善費（率計上）		
市街地補正	市街地	
共通仮設費（率計上）		
主たる工種	12:橋梁保全工事	
施工地域等補正	市街地（DID補正）（1）－1	1.4
ICT施工補正	補正なし	1.0
週休2日補正	補正なし	1.00
現場管理費		
施工地域等補正	市街地（DID補正）（1）－1	1.2
ICT施工補正	補正なし	1.0
週休2日補正	補正なし	1.00
一般管理費		
前払金支出割合による補正	補正を行わない	1.00
財団法人等による補正	補正を行わない	1.00
契約保証に係る補正率	金銭的保証	0.04%

見積参考資料（細別単価）

積算で採用した見積等の単価は下表のとおりです。

[illegible]

設計内訳書（大津畑橋）

工事名	大津畑橋他2橋補修工事					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要	
橋梁保全工事		式	1					
橋梁補修工		式	1					
モルタル充填工		式	1					
モルタル充填工	型枠・鉄筋・注入等全て含む	m3	1.1				単 1号	
現場塗装工		式	1					
橋梁塗装工		式	1					
素地調整（2種ケレン） （支承部）		m2	1				単 2号(概)	
素地調整（剥離剤+2種ケレン） （材料費含む） （桁部）	剥離回数：2回 養生、清掃含む 2種ケレン含む	m2	38				単 3号(概)	
下塗 （RCⅡ）	塗装種別：有機シンクリッチペイント(2回塗り/層)はけ・ローラーII, 塗装箇所：主桁, 塗装回数：1回	m2	32				単 4号(概)	
下塗 （RCⅡ）	塗装種別：弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(1層)はけ・ローラー, 塗装箇所：主桁, 塗装回数：1回	m2	32				単 5号(概)	
下塗 （RCⅡ）	塗装種別：弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(1層)はけ・ローラー, 塗装箇所：主桁, 塗装回数：1回	m2	32				単 6号(概)	
中塗 （RCⅡ）	塗装種別：弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 はけ・ローラー 淡彩, 塗装箇所：主桁, 塗装回数：1回	m2	32				単 7号(概)	
上塗 （RCⅡ）	塗装種別：弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 はけ・ローラー 淡彩, 塗装箇所：主桁, 塗装回数：1回	m2	32				単 8号(概)	

設計内訳書（大津畑橋）

工事名	大津畑橋他2橋補修工事					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
剥離剤及び塗膜かす回収・積込み （塗膜剥離） 100m2未満		廃材種別：剥離剤	回	2				単 9号(概)
廃材運搬		廃材種別：ケレンかす等（防護服およびシート類含む）、3tユニック車	回	1				単 10号(概)
廃材処分		廃材種別：ケレンかす等（防護服およびシート類含む）、基準値10倍以下	m3	1				単 11号
構造物撤去工			式	1				
構造物取壊し工			式	1				
コンクリート構造物取壊し		構造物区分：無筋構造物, 工法区分：人力施工	m3	0.1				単 12号(概)
殻運搬 人力積込 L=15.4km			m3	0.1				単 13号(概)
処分費			m3	0.1				単 14号
仮設工			式	1				
足場工 （参考数量）			式	1				
吊足場		1箇所 剥離剤用シート2回含む	m2	35				単 15号(概)
暴露防止対策工 （参考数量）			式	1				
鉛等対応環境対策資機材 （参考資料）			箇所	1				単 16号

設計内訳書（大津畑橋）

工事名	大津畑橋他2橋補修工事					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
交通管理工			式	1				
交通誘導警備員		B	人日	72				単 17号
概略発注工			式	1				
概略発注工			式	1				
概略発注工			式	1				
概略発注工 設計内訳書の区分別の概略発注工 を除く直工の31.9%以内			式	1				(概)を参照
直接工事費			式	1				
共通仮設			式	1				
共通仮設費			式	1				
安全費			式	1				
鉛等対応安全衛生保護具 (参考数量)			箇所	1				単 18号
技術管理費			式	1				
塗膜溶出試験費		試験項目：鉛 検体数：1検体	検体	1				単 19号

設計内訳書（大津畑橋）

工事名	大津畑橋他2橋補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
塗膜溶出試験費	試験項目：クロム 検体数：1検体	検体	1				単 20号
現場環境改善費		式	1				
現場環境改善費（率計上）		式	1				
共通仮設費（率計上）		式	1				
純工事費		式	1				
現場管理費		式	1				
工事原価		式	1				
一般管理費等		式	1				
工事価格		式	1				
消費税額及び地方消費税額		式	1				
工事費計		式	1				

設計内訳書（西谷線8号橋）

工事名	大津畑橋他2橋補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
橋梁保全工事		式	1				
橋梁付属物工		式	1				
排水施設工		式	1				
水切り設置 (材料費含む)		m	5				単 21号(概)
橋梁補修工		式	1				
断面修復工		式	1				
左官工法	1構造物当り修復延べ体積:0.125m3, 材料種類:ポ リマーセメントモルタル, 鉄筋ルン・鉄筋防錆処理: 有り	構造物	1				単 22号
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工) L=15.0km	DID無し、良好	m3	0.1				単 23号(概)
処分費		m3	0.1				単 24号
仮設工		式	1				
作業土工		式	1				
掘削 (参考数量)	岩塊・玉石, 現場制約あり	m3	2				単 25号(概)
交通管理工		式	1				

設計内訳書（西谷線8号橋）

工事名	大津畑橋他2橋補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
交通誘導警備員	B	人日	4				単 26号
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工 設計内訳書の区分別の概略発注工 を除く直工の6.3%以内		式	1				(概)を参照
直接工事費		式	1				
共通仮設		式	1				
共通仮設費		式	1				
現場環境改善費		式	1				
現場環境改善費（率計上）		式	1				
共通仮設費（率計上）		式	1				
純工事費		式	1				
現場管理費		式	1				

設計内訳書（西谷線8号橋）

工事名	大津畑橋他2橋補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
工事原価		式	1				
一般管理費等		式	1				
工事価格		式	1				
消費税額及び地方消費税額		式	1				
工事費計		式	1				

設計内訳書（八丁線3号橋）

工事名	大津畑橋他2橋補修工事					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
橋梁保全工事			式	1				
橋梁補修工			式	1				
作業土工 (参考数量)			式	1				
床掘		岩塊・玉石、現場制約有り	m3	2				単 27号(概)
埋戻し		岩塊・玉石、現場制約有り	m3	1				単 28号(概)
橋台修復工			式	1				
洗堀部保護工 A1		18－8－40BB 人力打設 現場小運搬有り 小型車割増	箇所	1				単 29号
洗堀部保護工 A2		18－8－40BB 人力打設 現場小運搬有り 小型車割増	箇所	1				単 30号
仮設工			式	1				
土留・仮締切工 (参考数量)			式	1				
土のう積		側面並べ、仕拵・積立・撤去	m2	4				単 31号(概)
交通管理工			式	1				
交通誘導警備員		B	人日	11				単 32号

設計内訳書（八丁線3号橋）

工事名	大津畑橋他2橋補修工事				事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工 設計内訳書の区分別の概略発注工 を除く直工の36.5%以内		式	1				(概)を参照
直接工事費		式	1				
共通仮設		式	1				
共通仮設費		式	1				
現場環境改善費		式	1				
現場環境改善費（率計上）		式	1				
共通仮設費（率計上）		式	1				
純工事費		式	1				
現場管理費		式	1				
工事原価		式	1				

設計内訳書（八丁線3号橋）

工事名	大津畑橋他2橋補修工事					事業区分 工事区分	道路維持・修繕 橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要	
一般管理費等		式	1					
工事価格		式	1					
消費税額及び地方消費税額		式	1					
工事費計		式	1					

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 1号	モルタル充填工	型枠・鉄筋・注入等全て含む	単位	m3	単位数量	1. 1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
型枠		一般型枠, 小型構造物					02-04-02	
CB240210			m2	6. 07				
無収縮モルタル注入			m3	1. 14			単 33号	
鉄筋工[市場単価]		SD345 D13, 一般構造物, 10t未満, 無, 無, 無, 無, 補正無(鉄筋割合10%未満含む), 補正無(一般構造物)					単 34号 06-02-01	
WB810010			t	0. 102				
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 2号	素地調整 (2種ケレン) (支承部)		単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
塗替塗装		素地調整, 無し, 無し, 無し, 2種ケレン(動力工具と手 工具の併用)	m2	1			単 35号 06-01-03	
WB821550								
合計								
単価							円／m2	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 3号	素地調整（剥離剤+2種ケレン） （材料費含む） （桁部）	剥離回数：2回 養生、清掃含む 2種ケレン含む	単位	m2	単位数量	15	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
材料費 剥離剤 リペアソルブS	Y000800007001		kg	8. 1			0. 54kg×15m2	
橋りょう世話役	R0124		人	1				
橋りょう塗装工	R0123		人	4				
合計								
単価							円／m2	

1 次単価表(概)

						単価使用年月	2026. 05	
						歩掛適用年月	2026. 05	
						労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0	
単 4号	下塗 (RCⅡ)	塗装種別:有機ソリッチペイント(2回塗り/層)はけ・ローラーⅡ, 塗装箇所:主桁, 塗装回数:1回	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
塗替塗装		下塗り, 無し, 無し, 無し, 有機ソリッチ(2回/層)はけ・ローラーⅡ	m2	1			単 36号 06-01-03	
WB821550								
合計								
単価							円/m2	

1 次単価表(概)

						単価使用年月	2026. 05	
						歩掛適用年月	2026. 05	
						労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0	
単 5号	下塗 (RCⅡ)	塗装種別:弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(1層) はけ・ローラー, 塗装箇所:主桁, 塗装回数:1回	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
塗替塗装		下塗り, 無し, 無し, 無し, 弱溶剤形変性エポキシ(1層)はけ・ローラー	m2	1			単 37号 06-01-03	
WB821550								
合計								
単価							円/m2	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 6号	下塗 (RCⅡ)	塗装種別:弱溶剤形変性ポキシ樹脂塗料(1層) はけ・ローラー、塗装箇所:主桁、塗装回数:1回	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
塗替塗装		下塗り, 無し, 無し, 無し, 弱溶剤形変性ポキシ(1層) はけ・ローラー	m2	1			単 37号 06-01-03	
WB821550								
合計								
単価							円／m2	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 7号	中塗 (RCⅡ)	塗装種別:弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 はけ・ローラー 淡彩、塗装箇所:主桁、塗装回数:1回	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
塗替塗装		中塗り, 無し, 無し, 無し, 弱溶剤形ふっ素樹脂用 はけ・ローラー, 淡彩	m2	1			単 38号 06-01-03	
WB821550								
合計								
単価							円／m2	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 8号	上塗 (RCⅡ)	塗装種別:弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 はけ・ローラー 淡彩, 塗装箇所:主桁, 塗装回数:1回	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
塗替塗装		上塗り, 無し, 無し, 無し, 弱溶剤形ふっ素樹脂 はけ・ローラー, 淡彩	m2	1			単 39号 06-01-03	
WB821550								
合計								
単価							円/m2	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 9号	剥離剤及び塗膜かす回収・積み込み (塗膜剥離) 100m2未満	廃材種別：剥離剤	単位	回	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう塗装工			人	2			[] [1]	
R0123								
普通作業員			人	1			[] [1]	
R0102								
諸雑費(率+まるめ)			式	1			[1] []	
ZS8000004		20%						
合計								
単価							円／回	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 10号	廃材運搬	廃材種別：ケレンかす等（防護服およびシート類含む）、3tユニック車	単位	回	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
廃材運搬			回	1				
合計								
単価							円／回	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 11号	廃材処分	廃材種別：ケレンかす等（防護服およびシート類含む）、基準値10倍以下	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
廃材処分			m3	1				
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 12号	コンクリート構造物取壊し	構造物区分:無筋構造物, 工法区分:人力施工	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
構造物とりこわし		無筋構造物, 人力施工, 無し, 無し	m3	1			単 40号 06-01-04	
WB824010								
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 13号	殻運搬 人力積込 L=15. 4km		単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
殻運搬 人力積込		コンクリート(無筋)構造物とりこわし, 有, 10km以上20km未満	m3	1			単 41号 60-01-12	
DY1410								
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 14号	処分費		単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 コン殻（無筋）処分費		Y007600000002	m3	1				
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 15号	吊足場	1箇月 剥離剤用シート2回含む	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
吊り足場 タイプA1			m2	1			単 42号	
両側朝顔 タイプB			m2	1			単 43号	
板張防護 タイプB			m2	1			単 44号	
シート張防護 タイプB			m2	1			単 45号	
床面シート張防護			m2	1			単 46号	
剥離剤工用養生シート 2回			m2	1			単 47号	
合計								
単価							円／m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 16号	鉛等対応環境対策資機材 (参考資料)		単位	箇所	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
鉛等対応環境対策資機材			箇所	1				
合計								
単価							円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 17号	交通誘導警備員	B	単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B			人日	1			単 48号 02-05-21	
WB010212								
合計								
単価							円／人日	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 18号	鉛等対応安全衛生保護具 (参考数量)		単位	箇所	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
鉛等対応安全衛生費			箇所	1				
合計								
単価							円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 19号	塗膜溶出試験費	試験項目：鉛 検体数：1検体	単位	検体	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
溶出試験費（鉛）			検体	1				
合計								
単価							円／検体	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 20号	塗膜溶出試験費	試験項目：クロム 検体数：1検体	単位	検体	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
溶出試験費（クロム）			検体	1				
合計								
単価							円／検体	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 21号	水切り設置 (材料費含む)		単位	m	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役							[] [1]
	R0125		人	1. 1				
	特殊作業員							[] [1]
	R0101		人	1. 1				
	普通作業員							[] [1]
	R0102		人	1. 1				
	材料費 水切り材 (ウォータークッター下面用)							[] [1]
	Y000800001001		m	100				
	諸雑費(率)							[1] []
	ZS7210100	3%	式	1				
	合計							
	単価						円/m	

1 次単価表

						単価使用年月	2026. 05	
						歩掛適用年月	2026. 05	
						労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0	
単 22号	左官工法	1構造物当り修復延べ体積:0. 125m3, 材料種類:ポリマーセメントモルタル, 鉄筋レン・鉄筋防錆処理:有り	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
断面修復工(左官工法)		有り, 0. 1m3以上, 0. 125m3	構造物	1			単 49号 02-02-09	
WB229210								
合計								
単価							円／構造物	

1 次単価表(概)

						単価使用年月	2026. 05	
						歩掛適用年月	2026. 05	
						労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0	
単 23号	コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	D/D無し、良好	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)		無し, 16. 5km以下, 良好	m3	1			単 50号 02-02-09	
WB229220								
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 24号	処分費		単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 (m3)							単 51号 01-14-01	
WB020051			m3	1				
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表 (概)

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 25号	掘削 (参考数量)	岩塊・玉石, 現場制約あり	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
掘削		岩塊・玉石, 現場制約あり					02-01-02	
CB210100			m3	1				
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 26号	交通誘導警備員	B	単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B							単 52号 02-05-21	
WB010212			人日	1				
合計								
単価							円／人日	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 27号	床掘	岩塊・玉石、現場制約有り	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
床掘り		岩塊・玉石, 現場制約あり					02-01-03	
CB210030			m3	1				
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 28号	埋戻し	岩塊・玉石、現場制約有り	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋戻し		現場制約あり, 岩塊・玉石, 有り	m3	1			02-01-03	
CB210410								
合計								
単価							円／m3	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 29号	洗堀部保護工 A1	18-8-40BB 人力打設 現場小運搬有り 小型車割増	単位	箇所	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
型枠		一般型枠, 小型構造物					02-04-02	
CB240210			m2	2. 94				
コンクリート		小型構造物, 人力打設, 各種, 一般養生, 有り, 全ての費用					02-04-01	
CB240010			m3	0. 6				
材料費 生コンクリート18-8-40BB 小型指定			m3	0. 6				
Y000800003002								
諸雑費(まるめ)								
ZS3000004			式	1				
合計								
単価							円／箇所	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 30号	洗堀部保護工 A2	18-8-40BB 人力打設 現場小運搬有り 小型車割増	単位	箇所	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
型枠		一般型枠, 小型構造物					02-04-02	
CB240210			m2	2. 74				
コンクリート		小型構造物, 人力打設, 各種, 一般養生, 有り, 全ての費用					02-04-01	
CB240010			m3	0. 61				
材料費 生コンクリート18-8-40BB 小型指定			m3	0. 61				
Y000800003002								
諸雑費(まるめ)			式	1				
ZS3000004								
合計								
単価							円／箇所	

1 次単価表(概)

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 31号	土のう積	側面並べ、仕捨て・積立・撤去	単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土のう積工		側面並べ、仕捨て・積立・撤去	m2	1			単 53号 02-05-10	
WB252620								
合計								
単価							円／m2	

1 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 32号	交通誘導警備員	B	単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B			人日	1			単 52号 02-05-21	
WB010212								
合計								
単価							円／人日	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 33号	無収縮モルタル注入		単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役							[] [1]	
	R0125		人	5				
特殊作業員							[] [1]	
	R0101		人	20				
普通作業員							[] [1]	
	R0102		人	20				
材料費 無収縮モルタル テンカブレタスコンタイプ 1								
	Y000800003004		m3	1				
諸雑費(率+まるめ)							[1] []	
	ZS8000004	30%	式	1				
合計								
単価							円/m3	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 34号 WB810010	鉄筋工[市場単価]	SD345 D13, 一般構造物, 10t未満, 無, 無, 無, 無, 補正無(鉄筋割合10%未満含む), 補正無(一般構造物)	単位	t	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13		Z001102019	t	1. 03				
鉄筋工 加工・組立共 一般構造物 単価補正1. 150 (FP3)		Q001001002	t	1				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価							円/t	

2 次単価表

						単価使用年月	2026. 05	
						歩掛適用年月	2026. 05	
						労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0	
単 35号 WB821550	塗替塗装	素地調整, 無し, 無し, 無し, 2種ｸﾚﾝ(動力工具と手 工具の併用)	単位	m2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工 塗替塗装 昼間 素地調整 2種ｸﾚﾝ 無 単価補正1. 000 (FP3)		Q001511007	m2	100				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価							円／m2	

2 次単価表

						単価使用年月	2026. 05	
						歩掛適用年月	2026. 05	
						労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0	
単 36号 WB821550	塗替塗装	下塗り, 無し, 無し, 無し, 有機ｼﾝｸﾞﾘｯﾁ(2回/層)は け・ﾛｰﾀｰII	単位	m2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工 塗替塗装 下塗 昼 無 有機ｼﾝｸﾞﾘｯﾁ(2回/層) はけ・ﾛｰﾀｰII 単価補正1. 000 (FP3)		Q001513016	m2	100				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価							円／m2	

2 次単価表

						単価使用年月	2026. 05	
						歩掛適用年月	2026. 05	
						労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0	
単 37号 WB821550	塗替塗装	下塗り, 無し, 無し, 無し, 弱溶剤形変性エポキシ(1層) はけ・ローラー	単位	m2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工 塗替塗装 下塗り 昼 無 弱溶剤形変性エポキシ1層はけ・ローラー 単価補正1. 000 (FP3)		Q001513001	m2	100				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価							円／m2	

2 次単価表

						単価使用年月	2026. 05	
						歩掛適用年月	2026. 05	
						労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0	
単 38号 WB821550	塗替塗装	中塗り, 無し, 無し, 無し, 弱溶剤形ふっ素樹脂用 はけ・ローラー, 淡彩	単位	m2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工 塗替塗装 中塗り 昼 無 弱溶剤形ふっ素用はけ・ローラー淡彩 単価補正1. 000 (FP3)		Q001515016	m2	100				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価							円／m2	

2 次単価表

						単価使用年月	2026. 05	
						歩掛適用年月	2026. 05	
						労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0	
単 39号 WB821550	塗替塗装	上塗り, 無し, 無し, 無し, 弱溶剤形ふっ素樹脂 はけ・ローラー, 淡彩	単位	m2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋梁塗装工 塗替塗装 上塗り 昼 無 弱溶剤形ふっ素はけ・ローラー淡彩 単価補正1. 000 (FP3)		Q001517016	m2	100				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価							円／m2	

2 次単価表

						単価使用年月	2026. 05	
						歩掛適用年月	2026. 05	
						労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0	
単 40号 WB824010	構造物とりこわし	無筋構造物, 人力施工, 無し, 無し	単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
無筋構造物 昼間 人力施工 制約無 単価補正1. 000 (FP3)		Q001611002	m3	1				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価							円／m3	

2 次単価表

						単価使用年月	2026. 05	
						歩掛適用年月	2026. 05	
						労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0	
単 41号 DY1410	殻運搬 人力積込	コンクリート(無筋)構造物とりこわし, 有, 10km以上20km未満	単位	m3	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級		20, 岩石工の割増対象にしない, 1, 0時間, 交替制を適用しない, 0, しない, しない, 0時間	日	2. 82			単 54号 90-03-01	
諸雑費(まるめ)			式	1				
合計								
単価							円／m3	

2 次単価表

						単価使用年月	2026. 05	
						歩掛適用年月	2026. 05	
						労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0	
単 42号	吊り足場 タイプA1		単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
足場材損料			m2	1				
橋りょう特殊工			人	0. 186				
合計								
単価							円／m2	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 43号	両側朝顔 タイプB		単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
足場材損料			m2	1				
橋りょう特殊工			人	0. 031				
R0122								
合計								
単価							円／m2	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 44号	板張防護 タイプB		単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
足場材損料			m2	1				
橋りょう特殊工			人	0. 026				
R0122								
合計								
単価							円／m2	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 45号	シート張防護 タイプB		単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
足場材損料			m2	1				
橋りょう特殊工			人	0. 006				
R0122								
合計								
単価							円／m2	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 46号	床面シート張防護		単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
足場材損料			m2	1				
橋りょう特殊工			人	0. 01				
R0122								
合計								
単価							円／m2	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 47号	剥離剤工用養生シート 2回		単位	m2	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
足場材損料			m2	1				
橋りょう特殊工								
R0122			人	0. 043				
合計								
単価							円／m2	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 48号 WB010212	交通誘導警備員B		単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B								
R0804			人	1				
諸雑費(まるめ)								
ZS3000004			式	1				
合計								
単価							円／人日	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 49号 WB229210	断面修復工(左官工法)	有り, 0. 1m3以上, 0. 125m3	単位	構造物	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役							[] [1]	
	R0125		人	3. 5				
特殊作業員							[] [1]	
	R0101		人	6. 625				
普通作業員							[] [1]	
	R0102		人	3. 5				
材料費 ポリマーセメント（断面修復用）								
	Y000800003001		m3	0. 148				
諸雑費(率+まるめ)							[1] []	
	ZS8000004	8%	式	1				
合計								
単価							円／構造物	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 50号 WB229220	コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)	無し, 16. 5km以下, 良好	単位	m3	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
普通作業員			人	1. 299				
R0102								
ダンプトラック運転		良好					単 55号 02-02-09	
WK220710			日	1. 51				
諸雑費(まるめ)								
ZS3000004			式	1				
合計								
単価							円／m3	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 51号 WB020051	処分費 (m3)		単位	m3	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 コン殻（無筋） 処分費		Y007600000001	m3	100				
合計								
単価							円／m3	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 52号 WB010212	交通誘導警備員B		単位	人日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B		R0804	人	1				
諸雑費(まるめ)		ZS3000004	式	1				
合計								
単価							円／人日	

2 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 53号 WB252620	土のう積工	側面並べ, 仕捨て・積立・撤去	単位	m2	単位数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
購入土 山土 表土、最大粒100～150mm Y001613000002			m3	2. 8				
土のう 62×48cm Z006082001			袋	140				
普通作業員 R0102			人	5. 88				
諸雑費(まるめ) ZS3000004			式	1				
合計								
単価							円／m2	

3 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 54号 K0301001	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級	20, 岩石工の割増対象にしない, 1, 0時間, 交替制を 適用しない, 0, しない, しない, 0時間	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(一般)								
	R0115		人	1				
軽油								
	Z006702002		L	21				
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級		機械条件: 供用 持込						
	M000301001		供用日	1. 28				
タイヤ損耗費 2～3t積級 良好 供用日								
	Z010020025		供用日	1. 28				
諸雑費(まるめ)								
	ZS3000004		式	1				
合計								
単価							円／日	

3 次単価表

単価使用年月	2026. 05
歩掛適用年月	2026. 05
労務調整係数	1. 000-00000 0. 0 0

単 55号 WK220710	ダンプトラック運転	良好	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(一般)								
	R0115		人	0. 89				
軽油								
	Z006702002		L	19. 2				
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級		機械条件: 供用 持込						
	M000301002		供用日	1. 02				
タイヤ損耗費 4t積級 良好 供用日								
	Z010020045		供用日	1. 02				
諸雑費(まるめ)								
	ZS3000004		式	1				
合計								
単価							円/日	

特記仕様書（個別工事編）

工事名 大津畑橋他2橋補修工事

工事場所 京都市山科区御陵大津畑町他地内

1 一般事項

第1条（適用）

本工事の施工に当たっては、「設計図書」によるほか、土木請負工事必携（以下「請負工事必携」という。）（令和7年8月京都市）」及び「特記仕様書（全工事共通編）（令和8年4月）」によらなければならない。

なお、本工事施工現場には、必ず請負工事必携、特記仕様書（全工事共通編）及び本特記仕様書を常備しなければならない。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」⇒「監督・検査」⇒「工事（土木、舗装、樹木等）の仕様書、様式等」参照

請負工事必携・特記仕様書（全工事共通編）

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000292439.html>

第2条（受注者希望方式による「クールタイム・シフト工事」の試行）

- 1 本工事は「京都市建設局クールタイム・シフト工事」の対象（受注者希望方式）であり、「京都市建設局クールタイム・シフト工事試行要領」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000354379.html>に基づいて実施する。
- 2 受注者は、実施を希望する場合、実施開始までに、実施期間及び実施内容を発注者と協議し、その内容を工事打合せ簿に記録すること。また、施工計画書の作成に当たっては、その実施内容を反映させること。
- 3 施工計画書提出後に実施の協議が整った場合は、変更施工計画書に、その実施内容を反映させること。

第3条（受注者希望方式による「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」の実施）

- 1 本工事は「京都市建設局週休2日工事」の対象（受注者希望方式による「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」）であり、「京都市建設局週休2日工事実施要領」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000322908.html>に基づいて実施する。ただし、「通期の週休2日」は必須である。
- 2 受注者は、契約後すみやかに、「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」の実施を希望するか否かを、発注者と協議し、その内容を工事打合せ簿に記録すること。また、施工計画書の作成に当たっては、「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」の実施内容を反映させること。
- 3 「完全週休2日（土日）」又は「月単位の週休2日」を達成した場合は、工事成績評定の考査項目「創意工夫」において、加点対象となる。
- 4 受注者は、本市が週休2日の推進を目的に受注者に対して実施する「京都市建設局週休2日工事」に関するアンケート調査やヒアリング調査に、随時協力しなければならない。
- 5 工事標示板に「京都市建設局週休2日工事」である旨を明示すること（様式不問）。

第4条（受注者希望方式による「建設キャリアアップシステム活用モデル工事」の実施）

- 1 本工事は「京都市建設局建設キャリアアップシステム活用モデル工事」の対象（ただし、受注者希望方式）であり、「京都市建設局建設キャリアアップシステム活用モデル工事試行要領」（<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000338803.html>）に基づいて実施する。
- 2 受注者は、契約後速やかに、建設キャリアアップシステムの活用を希望するか否かを、発注者へ通知し、その内容を工事打合せ簿に記録すること。
- 3 建設キャリアアップシステムの履行状況を確認できた場合は、工事成績評定の考査項目「創意工夫」において、加点対象となる。

第5条（ウィークリースタンスの実施）

本工事は、ウィークリースタンスの対象である。

実施に当たっては、「京都市建設局ウィークリースタンス実施要領」に基づき、受発注者相互に協力し、以下の項目について取り組むこととする。

- (1) 休日明け日（月曜日等）は依頼の期限日としない。
- (2) 休前日（金曜日等）に新たな依頼をしない。
- (3) 勤務時間外に書類作成等の依頼をしない。
- (4) 昼休みや勤務時間外の打合せを行わない。
- (5) 作業内容に見合った作業期間を確保する。（適正な期限日を設定する。）
- (6) 打合せは Web 会議（ビデオ会議機能）も活用する。

なお、工事の特性を踏まえ、災害等の緊急的な対応、第三者等の要求に伴う対応及び関係機関等との協議による休日又は夜間作業等により、取組が実施できない場合の対処方法（依頼や期限に関する特例、代休、振替休日の措置等）については、受発注者で確認し、共有する。

第6条（前払金）

前払金は、請負代金の40%以内とし、中間前払金は、同様に20%以内とする。なお、前払金保証（中間前払金保証を含む。）について、電子証書の提出を可能とする。

※ 京都市入札情報館ホームページ「契約保証及び前払金保証に係る保証証書の電子化への対応について」参照（<https://www2.city.kyoto.lg.jp/rizai/chodo/info/pdf/2023/shoushodenshika.pdf>）

第7条（中東情勢の変化等による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更）

- 1 本工事は、供給の偏りや流通の目詰まりにより入手が困難となっているナフサを由来とする建設資材（以下「調達検討資材」）の調達に必要な経費（以下「別途調達経費」）について、設計変更を行う対象工事である。
- 2 調達検討資材は下表を想定している。これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

表－調達検討資材

資材名	規格	設計数量	単価適用年月	単価適用地区
橋梁用塗料	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	12.7kg	R8. 5月	大津畑橋
橋梁用塗料	弱溶剤形フッ素樹脂塗料中塗	4.5kg	R8. 5月	大津畑橋
橋梁用塗料	弱溶剤形フッ素樹脂塗料上塗	3.8kg	R8. 5月	大津畑橋

- 3 受注者は、調達検討資材について別途調達経費が必要となる場合には、事前に監督職員と協議するものとする。ただし、迅速な対応が求められる場合には、口頭、ファクシミリ、電子メールなどで協議することも可能とするが、事後、遅滞なく書面により協議するものとする。

なお、別途調達経費が必要となる場合とは、以下を想定している。

- ① 調達検討資材の代替資材を調達した場合
 - ② 調達検討資材の流通経路を見直して調達した場合
 - ③ 調達検討資材を調達した場合（ただし別途調達経費を含む）
- 4 受注者は、別途調達経費に係る証明書類（実際の取引伝票等）を監督職員に提出するものとし、その別途調達経費については設計変更の対象とする。

2 現場条件に関する事項

第1条（現場条件）

本工事の施工に当たっては、下記の現場条件等に留意すること。

- 1 本工事は大津畑橋他2橋の補修を行うものであり、工期内に工事が完了するよう、適切な工程管理を行う必要がある。そのため、工事着手前に監督職員へ実施工程を提出し、了承を得てから施工すること。
- 2 交通規制をする場合は、具体的な交通規制図を作成し、交通管理者及び地元関係者の理解を得ること。
- 3 事前調査で実施した既存塗膜の有害物質含有試験により、大津畑橋の桁の既存塗膜には鉛、クロムが含まれていることが判明している。そのため、「鉛等有害物を含有する塗料の剥離・かき落とし作業における労働者の健康障害防止について」（平成26年5月30日、厚生労働省より通達）に係る「塗装の剥離等作業を請け負う事業者について」の記載事項を理解し、遵守すること。
- 4 ケレンかす（防護服及び防護シート類等含む）に含まれる鉛の溶出量は、 $3.0\text{mg}/\ell$ 以下と想定しているが、溶出試験の結果に応じて処分費を設計変更の対象とする。
- 5 大津畑橋においては、京都府による河床工事が予定されている。工事が重なる可能性があり、工事調整が必要となることから、近接施工業者と密に連絡をとること。

第2条（工程）

本工事においては、令和9年1月上旬に変更金額の確定が必要となる。このため、最終の変更数量を令和8年12月中に提出し、最終の変更金額について協議し、決定すること。

第3条（工事規制）

- 1 本工事施工箇所は、京都市道路工事調整会規約施行細則第17条に掲げる工事規制のうち、次の各号の規制種別に係る規制路線及び地域内であることから、同条に基づく規制期間及び規制内容を遵守しなければならない。なお、規制範囲は歩車道を含めた全幅とする。

京都市道路工事調整会規約施行細則

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000003649.html>

(1) 年末年始規制

規制種別	規制路線 及び地域	規制期間	規制内容
年末年始 規制	その他道路	12月27日～1月5日	規制期間中は、新たな工事に着手し、又は工事区域を拡大してはならない。ただし、道路の仮復旧等、一般交通に開放するための工事はこの限りでない。

第4条（関係機関協議等）

1 河川占用

本工事の天津畑橋については、現在京都土木事務所と協議中であるが、令和8年8月上旬に協議が成立する見込みである。なお、協議の結果変更が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

2 支承物件等

本工事区間において、G5 桁～G6 桁間の通信管が支承物件となり、現在 NTT と協議中であるが、令和8年8月上旬に協議が成立する見込みである。なお、協議の結果変更が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

第5条（交通誘導警備員）

- 1 交通誘導警備員については、下表のとおり計上しているが、道路管理者及び所轄警察署等の打合せの結果、又は条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

配置場所	交通誘導警備員 (1日当たりの編成人数)	編成	昼間・夜間・ 24時間の別	交替要員の有無
天津畑橋	4 名	交通誘導警備員 B 4 名	昼 間	無
西谷線8号橋	1 名	交通誘導警備員 B 1 名	昼 間	無
八丁線3号橋	1 名	交通誘導警備員 B 1 名	昼 間	無

3 監督職員の確認に関する事項

第1条（材料確認）

受注者は、次表の材料・資材・製品について、監督職員が臨場のうえ、材料確認を受けるものとする。また、あらかじめ施工計画書に材料等の名称・規格等を記載すること。

受注者は、監督職員が材料確認のために臨場した際、当該材料等の製造者が発行する品質を証明する資料（見本を含む）との照合、搬入された材料等の外観（角欠け、ひび割れ等）、形状、寸法及び数量等の確認を受けなければならない。

ただし、監督職員の確認が机上となる場合、受注者は、当該材料等の外観、形状、寸法（幅、長さ、高さ）及び搬入数量等が判別できる写真記録等の資料（納品書、納品伝票も可）を監督職員に提出し、その確認を受けなければならない。

なお、受注者は監督職員の確認を得ずに、当該材料等を使用して工事を実施してはならない。

監督職員の指定に基づき実施する材料・資材及び製品
（「品質管理基準及び規格値」に基づき実施する製品及び材料以外）

工種・種別等	細 別	材料・資材・製品
排水施設工	水切り設置	水切り材
断面修復工	左官工法	ポリマーセメントモルタル、防錆剤
橋梁塗装工	素地調整 （剥離剤+2種ケレン）	剥離剤
	塗装工	塗装材料
その他		監督員が指示するもの

第2条（受注者の臨場）

監督職員が行う段階確認においては、主任技術者（又は監理技術者、或いは監理技術者補佐）又は現場代理人、若しくは、予め監督職員の承諾を得た者が臨場のうえ、確認を受けなければならない。

第3条（段階確認）

受注者は、共通仕様書（3-1-1-4）の「表3-1-1 段階確認一覧表」に示す各種別、「品質管理基準及び規格値」による段階確認項目及び次表の工種・種別等の施工段階において、監督職員が臨場のうえ段階確認を受けるものとする。また、あらかじめ施工計画書に確認内容を記載すること。

ただし、監督職員による確認が机上となる場合、受注者は、施工状況、出来形、品質、不可視部分等の判別ができる施工管理記録（出来形成果表、設計図面との対比図、品質管理記録等）と写真等の資料を監督職員に提出し、その確認を受けなければならない。

なお、受注者は監督職員の確認を得ずに、当該工種以降の作業を実施してはならない。

「共通仕様書（3-1-1-4）の「表3-1-1 段階確認一覧表」に基づき実施する段階確認

工種・種別等	細 別	確 認 時 期
モルタル充填工	モルタル充填工	鉄筋組立時

監督職員の指定に基づき実施する段階確認（「品質管理基準及び規格値」による段階確認項目含む）
（「共通仕様書（３－１－１－４）」の「表３－１－１ 段階確認一覧表」に基づき実施する段階確認以外）

工種-種別等	細 別	確 認 項 目
排水施設工 （西谷線 8 号橋）	水切り設置	施工完了後の状況
断面修復工 （西谷線 8 号橋）	左官工法	劣化コンクリート除去状況、防錆処理状態
		施工完了後の状況（仕上げ、出来形等）
モルタル充填工 （大津畑橋）	モルタル充填	施工完了後の状況（仕上げ、出来形等）
橋梁塗装工 （大津畑橋）	素地調整	ケレン確認、塗膜厚確認（ケレン完了時）
	塗装工	施工完了後の状況（仕上げ、膜厚等）
橋台修復工 （八丁線 3 号橋）	洗堀部保護工	打設前における型枠検査 （不可視部分における出来形確認）
その他		監督職員が指示するもの

第 4 条（立会確認）

受注者は、次表に示す内容について、監督職員と現地で立会を行い、確認するものとし、監督職員が確認するまでは次の作業に進んではならない。

項 目	確 認 方 法・目 的 等
保安施設設置状況 （大津畑橋）	工事による事故防止のため、監督職員と立会確認をする。 （ただし、立会確認書は必要としない。）
空袋確認 （大津畑橋）（西谷線 8 号橋）	塗装工、断面修復工、モルタル注工等における使用量の確認
その他	監督職員が指示するもの

第 5 条（品質管理試験）

本工事の施工に伴う品質管理試験のうち、土木工事施工管理基準（品質管理基準及び規格値）に記載がない試験項目等については、次表のとおりとする。

工 種	品目・規格等	試験項目	規格値、 試験時期・頻度 等	備 考
モルタル充填工	無収縮モルタル	圧縮強度	強度 24N/mm ² 以上、 施工日毎	σ 7、σ 28 各 3 本
		フロー試験	使用材料による管理値、 施工日毎	
断面修復工	ポリマーセメントモルタル	コンクリートとの 付着性	1.5N/mm ² 以上、 施工単位ごと	
		圧縮強度	強度 24N/mm ² 以上、 施工単位ごと	σ 7、σ 28 各 3 本
		フロー試験	使用材料による管理値、 施工日毎	
		温度、湿度、表面 水量の計測	使用材料による管理値 施工日毎	
その他			監督職員が指示するもの	

4 建設副産物に関する事項

第1条（建設副産物の適正処理）

1 建設廃棄物が発生する場合の対応

本工事の施工により発生する建設廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の許可を受けた施設へ搬出するものとする。

なお、下表は積算上の条件明示であることから施設を指定するものではなく、監督職員の承諾を得て搬出先の変更を行うことができるが、原則として設計変更の対象としない。

また、産業廃棄物が発生する場合は「京都市産業廃棄物の不適正な処理の防止等に関する条例」（最終改正平成23年4月1日）を遵守すること。

特に、マニフェストを発行して産業廃棄物が適正に処理されたことを確認すること。このとき、受注者が排出業者であることとして保管の義務のあるA、B2、D、E票については、その原本を監督職員へ提示すること。

<産業廃棄物>

建設副産物	受入場所	備 考
コンクリート塊 （無筋） 大津畑橋	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた施設 京都市西京区桧原芋峠60番地の3	設計運搬距離 L = 15.4 km
コンクリート塊 （無筋） 西谷線8号橋	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた施設 京都市右京区京北下弓削町神楽田1-1	設計運搬距離 L = 15.0 km
ケレンかす(防護服及びシート類等含む) 大津畑	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた施設 兵庫県神戸市西区岩岡町野中宇福吉540番地の6	設計運搬距離 (京都市)～ (神戸市内)

第2条（特定建設資材の分別解体等及び再資源化等）

- (1) 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(最終改定令和7年6月1日)(以下「建設リサイクル法」という。)に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等及び再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」に定める事項は、契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上明示した以下の事項と別の方法であった場合でも設計変更の対象としない。ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法	工 程	作業内容	分別解体等の方法
	①仮設	仮設工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	③基礎工(杭基礎等)	基礎工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用
	⑥その他()	その他の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

※ 特定建設資材廃棄物を排出する場合、再資源化施設等の所在地については、本特記仕様書に示す「建設副産物の適正処理について」に記載のとおりとする。

- (2) 受注者は、特定建設資材の分別解体等及び再生資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を別に定める18条様式に記載し、監督職員に報告すること。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

なお、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を提出した場合、18条に基づく報告を省略することができるものとする。

5 その他事項

第1条（工事書類の提出）

完成検査の受検に向けた出来形図書については、工期末の40日前までに提出すること。また、完成検査に必要な工事書類については、工期末の15日前までに提出すること。

- 1 請負者は、工事の進捗に応じて、出来形数量を算出し、その結果を監督職員の指示した期日までに提出するものとする。
- 2 出来形数量は、土木工事数量算出要領（案）及び設計図書に従って算出し、「土木工事施工管理基準及び規格値」の規定に基づき、関係書類を提出しなければならない。また、設計変更の対象となる工種がある場合は、すみやかに監督職員に提出すること。工程の影響により、資料の提出が遅れる場合は、その旨を監督員に報告し、提出期限及び資料内容は監督員の指示に従うこと。
- 3 本工事の出来形図については、正確詳細に作成すること。また、図面については、CADによる製図とし、その他のデータと併せて電子媒体及び紙媒体により、提出するものとする。なお、提出に際して、必ずウイルスチェックを行うものとする。

第2条（情報共有システムの利用）

- 1 本工事は、情報共有システム（以下「システム」という。）の利用対象とする。
システムの利用に当たっては、「京都市建設局情報共有システム活用ガイドライン（令和6年3月）（※）」（以下「ガイドライン」という。）を遵守するものとし、ガイドラインの内容を十分に確認したうえで事前協議を行うこと。
- 2 利用するシステムは、ガイドラインで定める要件を満たすシステムの中から、受注者が選定すること。
- 3 システムの利用に係る費用は共通仮設費率分に含まれており、システム提供者との契約や利用に係る手続等は受注者が行うものとする。
- 4 システムで発議・提出・受理などの処理を行った工事帳票は、「京都市建設局電子納品実施要領」（以下「要領」という。）に基づき作成された仕様の電子データで出力し納品すること。
なお、要領は適宜改正されることから、適宜、京都市情報館を確認すること。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」参照
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000280681.html>

第3条（受注者希望型における遠隔臨場の実施）

本工事は受注者の希望により遠隔臨場を行うものとする。

1 目的

本工事は、「建設現場の遠隔臨場に関する実施要領（案）」（令和5年3月）及び「建設現場における遠隔臨場に関する監督・検査実施要領（案）」（令和5年3月）の内容に従い実施するものとする。

2 実施内容

（1） 「段階確認」、「材料確認」及び「立会」の実施

ア 受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）により撮影する映像と音声を監督職員へ

Web会議システム等を使用し、双方向の通信により会話しながら確認する。実施内容については、受発注者間の協議により決定するものとする。

- イ 遠隔臨場使用する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）の資機材は受注者が準備するものとする。ウェアラブルカメラ等の資機材は、使用製品を限定するものではなく、一般的なAndroidやi-Phone等のモバイル端末を使用することも可能である。ただし、監督職員が使用するパソコン等の機器・ネットワーク環境に適合する資機材を使用するものとし、資機材の選定に当たっては監督職員から承諾を得ること。

なお、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）の使用は、「段階確認」、「材料確認」及び「立会」だけではなく、現場不一致、事故などの報告時等でも活用効果が期待されることから、受注者の創意工夫等、自発的に実施する行為を妨げるものではない。

（２） 効果の検証

遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査を実施する場合は、調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

（３） 費用

遠隔臨場の実施に掛かる費用については、積上げ計上していないが、「建設現場の遠隔臨場に関する実施要領（案）」（令和５年３月）の内容に従い、遠隔臨場の実施に要する費用を設計変更の対象とする。

なお、遠隔臨場の実施方法については、施工計画書提出までの協議において提案するものとする。また、受注者はその費用について見積書を提出するものとする。

（４） 成績評価

遠隔臨場を実施した工事の成績評価は、考査項目「創意工夫」において、１点の加点とする。

第４条（鉛・P C B等の適正処理）

１ 鉛等有害物を含有する塗料の剥離・かき落とし作業における健康障害防止について

「鉛等有害物を含有する塗料の剥離・かき落とし作業における労働者の健康障害防止について」平成２６年５月３０日に厚生労働省から通達が出されており、塗装の剥離等作業を請け負う事業者についての記載事項を遵守すること。

２ 含有量試験について

大津畑橋における塗膜の含有量試験の結果については、監督員から別途通知する。

３ 溶出試験について

事前調査で実施した既存塗膜の有害物質含有試験の結果、鉛及びクロムの含有量が下表の判定基準値を超過していることが判明しているため、鉛及びクロムに関する溶出試験を実施すること。

有害物種別	含有量試験方法	含有の判定基準値	含有の定量下限値
鉛及び鉛化合物	・原子吸光光度分析法 ・ICP 発光分光分析法	600mg/kg	試験機関と協議し定量下限値を設定する。
クロム及び クロム化合物	・ICP 質量分析法 のいずれかの方法	300mg/kg	試験機関と協議し定量下限値を設定する。

溶出試験の方法は、「産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法」（昭和48年環境庁告示13号）に準ずるものとする。溶出試験の結果は、速やかに監督職員へ報告するとともに、特別管理産業廃棄物の判定基準値（廃棄物処理法施行規則第1条の2）を超過する場合は、適正な処分方法等について監督職員と協議することとし、処分方法に変更が生じた場合は設計変更の対象とする。各有害物に関する溶出試験を実施すること。

第5条（橋梁補修工）

1 断面修復工

(1) 品質規格

断面修復材は次表を満足するものでなければならない。また、ポリマーセメントモルタルは、「U-リペアパッチ AP」として積算している。

左官工法による断面修復材の品質規格

試験項目	試験体の履歴条件	基準値	試験方法
硬化時間	－	固化時間は1時間以上であること。	JIS R5201
断面修復材の外観(塗装なし)	温冷繰り返し試験後	均一でわれ、はがれ、ふくれのないこと。	JIS A6909
硬化収縮性		硬化収縮率は0.05%以下であること。また、硬化に伴う発熱による反りかえりが無いこと。	JIS A1129-3
コンクリートとの付着性	湿潤時	コンクリートと断面修復材との付着強度は1.5N/mm ² 以上であること。	JIS A6909
	耐アルカリ試験後		
	温冷繰り返し試験後		
圧縮強度	－	強度24N/mm ² 以上であること。	JIS R5201

※この条項については、施工条件を勘案の上、必ずしも基準値を満足する必要があるものと判断される場合には、参考値として取り扱うことができるものとする。

(2) 施工

① モルタル工

使用する材料は、施工時の天候、温度、湿度、修復面の状態、塗り間隔等に適したものでなければならない。

② コンクリート表面にレタンス、塵埃、油脂類、塩分等が付着していたり、脆弱部があると、プライマーの接着性能に悪影響を及ぼすことが多いため、これらの有害物は完全に除去しなければならない。

③ レタンスや付着塩分および脆弱部の除去は、一般にディスクサンダーやサンドブラスト等を使用して行い、塵埃の除去にはコンプレッサーで清掃するのが効率的である。

④ 油脂類の除去はシンナーで拭き取ることが一般的である。

⑤ コンクリート表面が濡れていたり、湿っている場合には、プライマーの接着性能に悪影響を及ぼすことが多いため、コンクリート表面の含水率は高周波水分計で8%以下であることを確認しなければならない。

⑥ コンクリートの表面温度が40℃以上であると、表面に塗布した材料が発泡したり、変質したり悪影響を及ぼすことが多いため、40℃以上の場合は作業を中止するか、日光を遮蔽するなどして40℃以下になってからでなければ作業してはならない。

- ⑦ 材料を使用する前に、その種類や配合が仕様書を満足していることを確認しなければならない。
- ⑧ 反応硬化(固化)する材料で、可使時間(固化時間または凝固開始時間)を超えた材料は使用してはならない。
- ⑨ 材料の使用量は、空き缶数量検査等により標準使用量を満足しなければならない。
- ⑩ 工程ごとに使用した材料の所定の硬化(固化)状況を確認した後でなければ、次の工程に移ってはならない。
- ⑪ 断面修復部においては、ハツリ端部の形状がフェザーエッジとならないよう 10 mm 程度のカッター目地を入れた後にハツリ作業を行うものとする。

2 鉄筋防錆材

(1) 品質規格

防錆処理材の規格は次表を満足するものでなければならない。

要求性能	試験項目		基準値	試験方法
防錆性	防 せ い 性 試 験	処理部	防せい率 50%以上	鉄筋コンクリート補修用防せい材の品質基準(案) ^{注1} を標準
		未処理部	防せい率 -10%以上	
鉄筋との付着性	鉄筋に対する付着強さ		7.8N/mm ² 以上	
コンクリートとの付着性	耐アルカリ性		塗膜に異常が認められないこと	

注1) 日本建築学会 鉄筋コンクリート造建築物の耐久性調査・診断および補修指針(案)・同解説付 1.3。

(2) 施工

ワイヤーブラシやサンドブラスト等で錆落としをした鉄筋は発錆しやすい状態にあるため、錆落とし後2時間以内を目途に鉄筋防錆材を塗布しなければならない。

また、使用する鉄筋防錆剤に適した使用方法で施工し、均一に塗布しなければならない。

3 橋梁塗装工

- (1) 現場塗装部については『鋼道路橋防食便覧(平成 26 年 3 月)』((社)日本道路協会)に従うこと。
- (2) 現場塗装の状況が資料で確認できるように、周辺の環境の記録の塗装時間等の現場塗装の記録、写真を提出すること。
- (3) 足場上方の空き部分の養生等、塗料の飛散防止対策を十分に行うこと。
- (4) 現場塗装(下塗、中塗)後は塗膜厚等、監督職員の確認を得ること。
- (5) 塗装を行うにあたり支障となる占有物件がある場合は、工事施工計画時より占有者と綿密に協議、調整を行い必要な処置を行うこと。
- (6) 剥離回数は2回として計上している。剥離試験によって回数や添加量が変更となった場合は設計変更とする。

第6条 (工事の徹底周知)

- 1 請負者は、工事着手2週間前を目途として工事区間周辺に工事予告看板を設置するとともに、「工事のお知らせ」等のチラシを配布し、関係機関・周辺住民等に工期、通行止め等規制の期間及び現場責任者氏名並びに連絡先等の周知を図らなければならない。
- 2 上記チラシ等について、関係機関・周辺住民等へ配布後、記載内容に変更が生じた場合は、速や

かに再配布するものとする。

- 3 配布先については、監督職員と協議すること。

第7条（その他特記事項）

- 1 請負契約決定後直ちに本市担当職員(以下監督職員という)に連絡し着工日の指示を受けるとともに、着工までに施工計画をたてて監督職員の承認を受けること。
- 2 工事関係車両を長時間、現場付近及び沿道に待機させてはならない。
- 3 本工事施工期間中、現場代理人は昼夜を問わず常時連絡が取れる体制を取ること。
- 4 本工事の施工に伴い、占用企業者とは、緊密な協議を行い円滑な工事進捗を図ること。
- 5 隣接する地元関係者(官公庁等も含む)との協議、施工区域、施工時間、施工日等に関する事項については、請負者の独自の判断で施工してはならない。必ず監督職員に報告し確認を受けること。
- 6 他の企業者・事業者工事と本工事とが影響する場合は、工程計画等について十分調整を図るとともに監督職員の指示に従うこと。
- 7 工事に支障となる添架物または障害物がある場合は、関係機関と協議し、撤去または移設しなければならない。添架物の施工中の養生方法については、施工者の責において占用企業者と十分に調整すること。また、関係機関との協議に必要な資料を作成し、協議により了解を得てから施工を実施すること。
- 8 請負者は、施工に際して民有又は官有の施設を破損した場合は、請負者の費用負担で現状に復旧しなければならない。
- 9 道路の規制については、関係機関等と十分協議のうえ、規制計画を策定すること。歩行者、自転車等の安全に十分配慮して計画すること。
- 10 本工事において、交通供用状態下での既設部材に対して補修・補強を行うため、作業手順に留意し、第三者災害が生じないように十分な安全対策を図ること。
- 11 施工前に躯体の実寸法等を測定し、設計図面との相違を確認すること。相違がある場合、実寸法を正として、設計に反映させなければならないため、監督員と協議を行うこと。
- 12 仮設工における土のう袋等の処分費は再利用等の可能性があることから計上していない。別途処分等が必要となった場合は監督員と協議すること。
- 13 西谷線8号橋においては、桁下に土砂が堆積していることから、作業空間の確保として「仮設工掘削工」を想定しており、また、八丁線3号橋においては、「作業土工 床掘・埋戻し」を設計している。これより残土処分費が発生するが、近接の洗堀された河床への設置を想定しており、積算として計上していない。現地調査等により、運搬や処分・転圧等の必要が生じた場合は別途、監督員へ報告し協議すること。
- 14 大津畑橋においては、近接に民家が密集しており粉塵対策として2種ケレン剥離剤での塗装工としている。このことから特に粉塵に対して配慮が必要な箇所であることから、作業時における現場の養生を確実に行うこと。
- 15 八丁線3号橋について、橋台前面を掘削する際、橋台の変状について留意して施工し、必要に応じて床掘範囲を小さくするため上下流で分割して施工をおこなうなどの対策を行うこと。

位置図



橋梁名：大津畑橋（おおつはたはし）

場 所：京都市山科区御陵大津畑町他地内

路 線：一般市道 山科北通

交差物：一級河川 安祥寺川

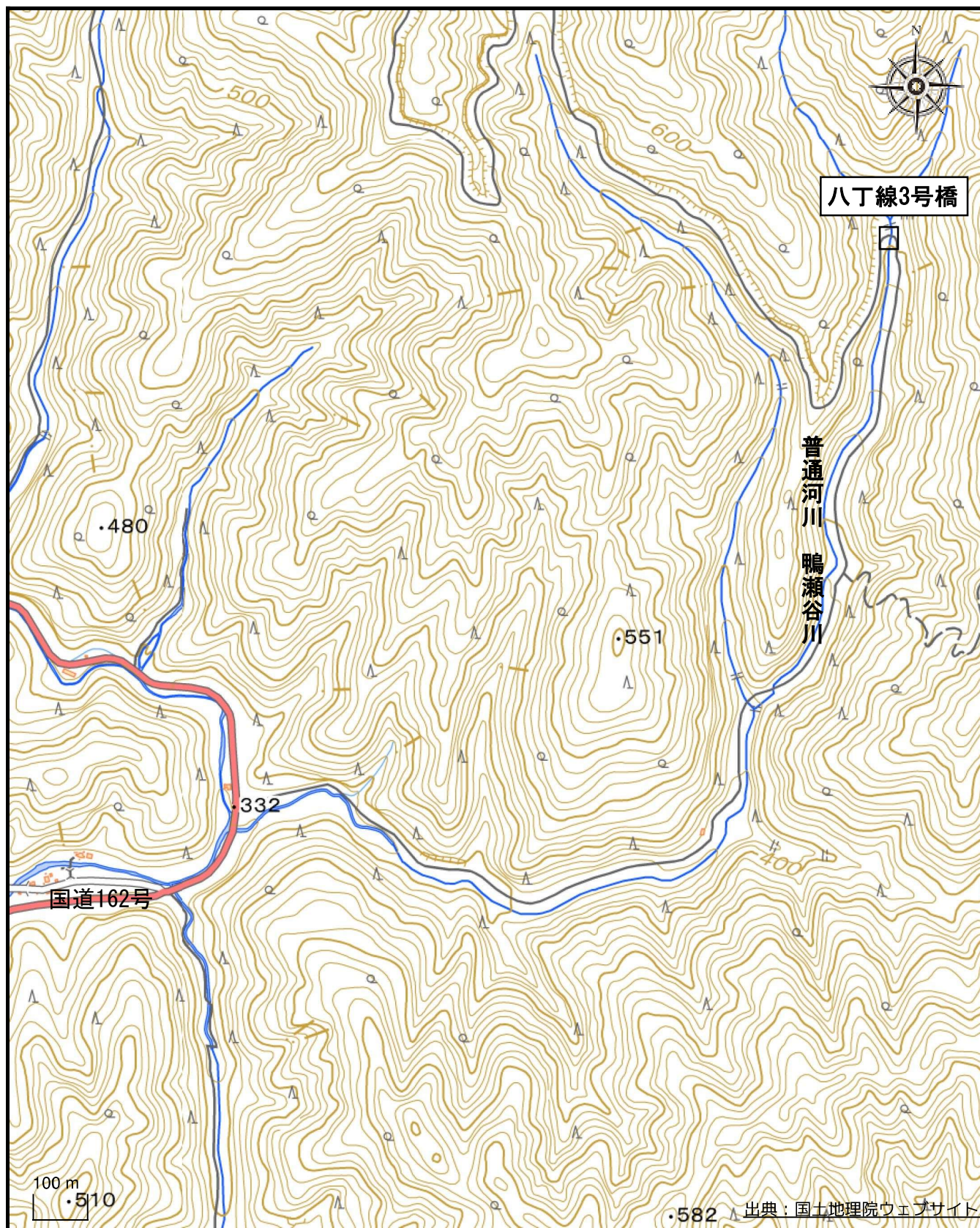
位置図



1 / 12000

橋梁名：西谷線8号橋(8号橋)
路線名：一般市道 西谷線
工事場所：京都市右京区京北大野町奥附地内

位置図



1 / 10000

橋梁名：八丁線3号橋（3号橋）
路線名：一般市道 八丁線
工事場所：京都市右京区京北下中町鴨瀬